

■「ごみ処理有料化制度（案）」の修正項目一覧

No.	意見元等	主な意見（概要）	項目	修正概要
1. はじめに				
(2) 本市における有料化検討経緯				
1	岐阜市	—	p.2	ごみ処理有料化制度の策定経緯を追記
2	岐阜市	—	p.4	ごみ処理有料化制度についての意見交換会の開催及びごみ処理有料化制度（案）に対するパブリックコメント手続きの実施に伴い、「【表1】本市における有料化に関する議論の経緯」を更新
2. ごみ処理の現状				
(1) 一般廃棄物（ごみ）の排出状況				
3	パブコメ	・岐阜市では「50kgルール」により、小規模事業者の事業系ごみが生活系ごみとして集計されている。目標・指標や分析値を記載する際には、その旨を明記すべきである	p.6 p.12 p.50	少量排出事業者がごみステーションに排出した事業系普通ごみが家庭系普通ごみとして集計されている旨の注釈、及び有料化後はこれらを区別することが可能となることを追記
(2) ごみの焼却状況とごみ焼却量の目標				
4	環境審議会	・ごみ焼却状況のグラフは、0から始まるようにした方がよい	p.9 概要1(2)	「【図 7】ごみ焼却量及び一人あたりごみ焼却量の予測」のグラフを、縦軸を0から始まるように修正
(3) ごみ減量・資源化の取り組み状況				
5	パブコメ 意見交換会	・自治会やステーション利用者を介してごみ量をへらす方策（ポスター、ピラ、施設見学、勉強会）について支援いただきたい ・周知徹底の方法として、学校や事業所に行うことも効果的である	p.11	ごみ減量フォーラムやシンピック・アクション号など、ごみ減量に関する情報発信を実施することで、ごみ減量・資源化を推進していることを追記
4. ごみ処理有料化				
(4) ごみ処理有料化による減量効果等				
6	岐阜市	—	p.29	「④二酸化炭素の排出抑制」において、家庭系普通ごみ由来の二酸化炭素排出量の削減量を、詳細に記述するように修正
(5) 他都市の有料化実施状況				
7	岐阜市	—	p.30	他都市の有料化実施状況を、令和5年度時点（令和7年3月公表）に更新

5. 家庭系ごみ処理有料化制度				
(2) 有料化の対象とする家庭系ごみ				
8	パブコメ 意見交換会	・指定の袋に限定されると、今まで再利用していた袋はごみになり、ごみを減らすことに反することになる ・今まで使っていた袋は無駄になってしまうのか	p.32 p.40 概要4(1)	資源ごみは、ごみ処理有料化実施後も、無色透明又は乳白色で半透明のごみ袋やレジ袋で排出できることを追記
9	パブコメ 意見交換会	・道路の清掃など、自治会でボランティア清掃している都市美化ごみについての取り扱いはどうなるのか ・ごみステーションがカラスに荒らされた後の片付けを、近くに住んでいる人がボランティアで掃除をしている ・関市には、ボランティア袋というごみ袋がある。ボランティア清掃で出たごみはその袋で回収しているので、導入してみてはどうか	p.32 概要4(1)	都市美化ごみは、道路、公園、河川や、地域で管理する神社、墓地、自治公民館、ごみステーションなどで、他者が排出したごみをボランティアで清掃したごみであるため、個別に市が無料回収するか、少量の場合には、ボランティア用指定ごみ袋を無料配付し、ごみステーションに排出可能とすることを追記
(3) ごみ処理手数料の料金体系				
10	パブコメ 意見交換会	・年間1人当たり一定の排出量までは無料とし、それ以上を超える排出量については有料とするように、住民に袋を配付するのはどうか	p.34	「排出量単純比例型」を採用する理由、採用している自治体数に関する記述を修正
(5) 家庭系ごみ処理手数料の徴収方法				
11	パブコメ 意見交換会	・現在使っているごみ袋はどうすればよいか。シール等の導入を検討しているのか	p.40	「有料指定ごみ袋方式」と「有料シール方式」の特徴を記載し、有料指定ごみ袋方式を採用した理由について、詳細に記述するように修正
12	パブコメ 意見交換会	・もっと小さいごみ袋も用意してほしい ・袋が縛りやすいごみ袋にしてほしい	p.40 p.41 概要4(2)	より小さなおみ袋を求める声が多いことから、指定ごみ袋の種類を「45L、30L、20L」の3種類から「45L、30L、15L」の3種類に変更するとともに、ごみ排出時の利便性を考慮し、持ち手付きの形状とすること追記
(6) 家庭系ごみ処理手数料額				
13	パブコメ 意見交換会	・小さい袋は単価を安く設定すべきではないか	p.41 概要4(2)	指定ごみ袋の種類を「45L、30L、15L」の3種類に変更するとともに、ごみ減量への動機付けや金銭的負担軽減の観点から、容量の小さいごみ袋ほど、単価が安くなるように設定
14	パブコメ 意見交換会	・ごみ袋の販売店舗によっては、徒歩圏内にない可能性があるため、販売場所を考えてほしい ・ごみ袋がしっかり店頭にならぶように準備期間をしっかりと作ってほしい	p.41 p.50 概要4(2)	指定ごみ袋取扱店を募集し、指定ごみ袋取扱店で指定ごみ袋を販売することを追記
(7) 家庭系ごみ処理手数料の減免				
15	環境審議会 パブコメ 意見交換会	・住民税非課税世帯、重度障がい者、母子家庭を減免対象としてほしい	p.41	費用負担の公平性の確保の観点から、原則として、ごみ排出量に応じた費用負担を求めることを記載

(8) 家庭系ごみ処理手数料収入の使途				
16	環境審議会 パブコメ 意見交換会	・手数料収入の使い道をしっかり公表してほしい	p.42 概要4(5)	制度開始後、手数料収入の使途や経費の額を市ホームページや広報ぎふ等で公表することを追記
(9) 家庭系ごみ処理手数料の試算額及び制度実施に伴う経費見込み				
17	環境審議会	・「②有料化の効果で12%減量」の根拠が26頁に記載されているので、補足した方が分かりやすい	p.42	手数料を試算する際に、有料化による減量効果を考慮していることについて追記
18	環境審議会 パブコメ 意見交換会	・有料化によって歳入をどれくらい見込んでいて、どういったことにいくら使うのか ・ごみ処理手数料収入の使途について、試算額を基に使途項目ごとの金額を明確にして開示した方がよい	p.43 p.52 p.53 概要4(5) 概要5	制度実施に伴う経費として、家庭系及び事業系の 有料指定ごみ袋の製造及び流通管理に係る経費等の試算額 を記載するとともに、 併用施策は、ごみ処理手数料収入から得られる財源の範囲内で行う ことを追記
6. 事業系ごみ処理有料化制度				
(6) 事業系ごみ処理手数料の料金水準				
19	パブコメ 意見交換会	・少量事業者への配慮が必要な理由が記載されているが、排出者責任を免責する妥当な理由ではない ・家庭のごみ袋と事業のごみ袋の値段が同じなのはおかしい	p.49	事業系ごみの手数料水準を家庭系ごみより高く設定すると、事業系ごみが家庭系ごみに混入する恐れがあることや、小規模事業所支援の観点から事業系ごみ手数料と家庭系ごみ手数料を同額とすることが望ましいことを追記
(9) 事業系ごみ処理手数料の減免				
20	岐阜市 意見交換会	・地域のイベントで出たごみの扱いはどうなるのか	p.51 概要4(3)	市が主催または共催する事業、及び自治会やまちづくり協議会等の地域団体が行う「 地域のイベントごみ 」については、 手数料を減免 することを追記
(10) 事業系普通ごみのステーション排出				
21	パブコメ	・「排出可能量の見直しなど、本来的に事業者には排出者責任があることを考慮して、」を挿入し、本来あるべき姿へ近づけるべく検討すべき	p.51	事業系ごみの排出者責任や家庭系普通ごみの排出量等を考慮して、ごみステーション排出に対する新たな条件を設定することを追記
7. ごみ処理有料化に伴う併用施策				
22	パブコメ	・「地域のごみ処理支援施策」「ごみの減量・資源化施策」は、柱として取扱っていただきたい	p.53 概要5	「ごみ処理有料化に伴う併用施策」を章立て（※以降、7章を8章に繰り下げると共に、8章の節番号を調整）
23	パブコメ 意見交換会	・ごみ袋の配布という新たな 負担が発生 する ・自治会に配布すると、個別の自治会員に配布するという 手間が増える だけである	p.53 概要5	地域コミュニティへの支援策は、 市民意見交換会等でいただいたご意見を踏まえる と共に、自治会等の地域の皆様に、 できる限り負担のかからない仕組み とすることを追記

(1) ごみの減量・資源化施策				
24	意見交換会	・剪定枝の回収方法はどのように考えているのか ・剪定枝はごみ袋に入れるのではなく、結束して出せるようにしてほしい	p.53	粗大ごみ自己搬入施設へ、紐等で束にするか、袋に入れ持ち込んでいただくことを考えていることを追記
25	パブコメ	・「再商品化」という言葉にはリユースの印象が強く、より内容が分かりやすく伝わりやすくなるような表現だとよい	p.54	プラスチック製品の再商品化に係る説明を修正
26	パブコメ 意見交換会	・介護や、子育て世帯の オムツのごみの無料回収や補助 を検討してほしい ・家庭系剪定枝の資源化の対象に 落ち葉、刈草 も含めてもらいたい ・事業者に対する資源化への取り組みについて、何か指導しているのか	p.54 概要5(1)	③その他の資源化として、使用済み紙おむつの再商品化や 落ち葉や刈り草の資源化 について調査研究を行っていくこと、事業所への立入調査・指導などで事業系ごみの資源化を推進することを追記
(2) 地域のごみ処理支援施策				
27	環境審議会 パブコメ 意見交換会	・自治会への支援をどのような形でやってもらうのか ・ 自治会員にメリットのある仕組み なのか ・ネットの補助や現物支給のやり方の方がよい	p.55 概要5(2)	協力費は、鳥獣対策用ネット・ボックスの購入や清掃用具、有料指定ごみ袋の自治会加入世帯や清掃活動・イベント参加者への配布など、それぞれ地域の実情に応じて、 自治会の裁量で 、地域のごみ処理に係る 様々な用途に活用できるもの とすることを追記
28	パブコメ 意見交換会	・近所の方がごみ出しを手伝っている状況 ・自治会の役割として、 高齢者を地域の方で助け合う制度 ができれば、自治会に加入する人も今後増えていくと思う	p.55 概要5(2)	ごみ出しが困難な高齢者や障がい者等に代わって、 地域でごみ出しを協力する活動に対し支援金を交付する ことを追記
(3) その他				
29	パブコメ 意見交換会	・行政改革やテクノロジーで問題を解決すれば、費用の捻出ができる ・ごみ収集回数を減らすなど、経費を削減する方法を考えるべき	p.56	デジタル技術等を活用したごみ収集の効率化について、先行自治体での事例など、調査・研究していくことを追記
8. ごみ処理有料化の実施に向けた取り組み				
(1) 周知及び啓発活動				
30	環境審議会 パブコメ 意見交換会	・周知徹底の方法として、学校や事業所にも行うことが効果的である ・広報ぎふや市ホームページ、SNSの活用だけでなく、 情報を目にする機会 をもっと増やさないと周知啓発にならない ・ 非自治会員 、高齢者、 外国の方々 に対する 周知徹底 を行ってほしい ・有料化までに丁寧に行ってほしい	p.56 概要6(1)	市民説明会を各地区で広く開催 するほか、自治会未加入世帯や外国人に対しても情報が届くよう、言語に考慮した 有料化制度チラシを全戸配布 するなど、 様々な媒体を通じて周知啓発 を図ること追記

(2) 不適正排出・不法投棄対策				
31	パブコメ 意見交換会	・有料ゴミ袋以外でステーションに排出されていた場合、市は回収するのか ・イエローカードで放置されたごみの処理について困っている	p.57 概要6(2)	イエローカードによる注意喚起を行い、排出者の特定ができた場合には 直接指導 を実施。不適正な排出が繰り返される場合には、職員による早朝パトロールの実施や警察と連携し対応することを記載
32	パブコメ 意見交換会	・有料化すると 不法投棄が増える のではないのか。その対策についてどうか ・防犯カメラを設置する方法がよいのではないか	p.57-58 概要6(2)	山間部などの市職員及び民間警備会社によるパトロールなど、不法投棄未然防止対策を実施するとともに、 不法投棄110番、市オンライン申請総合窓口サイト のほか、市ゴミ分別アプリに不適正排出、不法投棄通報機能を追加し迅速な対応を図ることを記載
(3) ステーション管理のルール化				
33	環境審議会 パブコメ 意見交換会	・ごみステーションは自治会と自治会未加入者が色々な形態で設置・管理している。市としてあるべき 適正な形態を明確に市民に示して いただきたい ・ 戸別収集 されている地域があるようだが 不公平 ではないか	p.58 概要6(3)	ごみステーションの利用状況等の 実態調査 を行い、 地域の実情を踏まえ 、ごみステーションの設置基準や、利用方法などをルール化し、ごみステーションの適正な管理と利用を図ることを記載